

## EDTA 依存性偽性血小板減少症疑いにおける 血液凝固検査用容器採血の報告データについて

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、血液一般検査において、EDTA 依存性偽性血小板減少症疑い(血小板凝集)時の対策として、血液凝固検査用容器(以下クエン酸 Na 容器)検体を提出いただいた場合の報告データにつきまして、下記の通り変更させていただきますのでお知らせいたします。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■変更内容

EDTA 依存性偽性血小板減少症疑い(血小板凝集)時に、血液学容器検体とクエン酸 Na 容器検体を提出頂いた場合の報告データを下表の通り変更いたします。

変更内容	新	旧
採用データ	双方の採血管で測定し血小板数を比較し、クエン酸 Na 容器採用時は、血小板数の換算データのみ採用し、他の血液一般データは、血液学容器データを報告。	双方の採血管で測定し血小板数を比較し、クエン酸 Na 容器採用時はすべての血液一般項目の換算データを報告。
クエン酸 Na 容器データ採用時付加コメント	血小板数:クエン酸 Na 容器データ入力	血液一般:クエンデータ入力

※変更理由: 今般、測定機は血液学容器での使用を前提に開発されており、クエン酸ナトリウム容器データは血小板数のみ換算データを採用することをメーカーより推奨されました。

#### ■変更期日

●2024 年 5 月 7 日(火)受付日分より

以上